

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



17章 関係詞4

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) 習いたい言語を（全部）書いてください。
- (2) 彼はタクシーではなく歩いてそこに行くように言われ、そのアドバイスに従った。

■ 確認問題2

解答

- (1) 好きなものをお取りください。
- (2) どんなにがんばっても、まだやっていないことはあるものだ。

問題

【1】

解答・解説

- (1) which (その医者は彼に飲酒をやめるように言ったが、彼はこの忠告に従わなかった。)
- which advice = but this advice [関係形容詞]
 - give up …ing 「…するのをあきらめる、やめる」 [× give up to do]
- (2) Whoever (やってくる人は誰でも歓迎されるだろう。)
- whoever = anyone who
- (3) whoever (彼はパーティーに来たいと思っている人は誰でも招待した。)
- whoever = anyone who [関係代名詞の格は主節とは無関係であり、この場合関係代名詞が導く節の中で、関係代名詞が主語になっているので whoever を用いる。]
- (4) what (たとえどんなことが起こっても、そこにいなさい。)
- no matter what = whatever [譲歩を表す副詞節を導く。]
- (5) However (どんなに経験豊かでも、運転するのにいくら注意してもしすぎることはない。)[譲歩を表す副詞節を導く。]
- cannot ~ too … 「いくら～しても…しすぎることはない」
 - experienced 「経験豊かな」
- (6) whichever (どちら側が勝っても、その野球の試合は大変興奮するものだろう。)[複合関係形容詞 (譲歩を表す副詞節を導く。)]

【2】

解答・解説

- (1) by which time [関係形容詞]
- keep to ~ 「～から離れない；～を堅く守る」
 - be restored 「(健康を) 回復する」
- (2) What little
- what little ~ 「わずかだがすべての～」 [what は関係形容詞]
 - drink *n.* 「酒」
 - spend ~ on … 「～を…に費やす」 [~ = what little money he has (～が文頭に出た形)]
- (3) However much [譲歩を表す副詞節を導く。]
- (4) However [譲歩を表す副詞節を導く。] (= By whatever means you do it, the result is same.)
- whatever [複合関係形容詞]
 - means = ways

【3】

解答・解説

- (1) Whoever (その仕事に就く人は誰でもすべき仕事がたくさんあるだろう。)
- (2) anything that (その生徒は彼の助言者が彼にするように言ったことを何でもした。)
○ tell ~ to do 「～に…するように言う」
- (3) at any place (どこでも好きな所で遊んでよい。)
- (4) No matter (どこへ行こうとも、私はあなたのことを忘れません。)[譲歩を表す副詞節を導く。]
- (5) Whenever ; At any time (彼らは会うといつもけんかする。)

【4】

解答・解説

- (1) (a) 遅刻する者は誰でも入れない。[名詞節]
(b) たとえ誰が電話してきても、私はいないと言ってくれ。[譲歩の副詞節]
○ ring [この場合は「電話をかける」という意味。]
- (2) (a) 私は席を見つけられるところならどこでも座ります。[wherever = at any place where]
(b) あなたがどこへ行こうとも、あなたについて行くつもりだ。[譲歩の副詞節]
- (3) (a) どちらの本を借りても、1週間以内に返却しなければならない。[譲歩の副詞節]
(b) あなたが借りるどちらの本も1週間以内に返却しなければならない。[名詞節]

【5】

解答・解説

本問は複合関係詞に関する問題である。

- (1) However late you are, you should attend a class. [譲歩の副詞節を導いている。]
○ attend ~ 「～に出席する」
- (2) We eat whatever food we can find.
- (3) Whoever finds my bag will receive a reward. [複合関係代名詞。名詞節を導く。]
○ reward 「報酬；褒美」

【6】

解答

- (1) 「全訳」下線部(1), (2), (4)参照。
- (2) where
- (3) 自分の抱える案件を売り込むのに最もふさわしい人物を見つけること。(32字)

解説

(1)

(1)○ The result is that ~ 「結果は～である」

(2)○ complex 「複雑な」

○ , hoping to get it either accepted or rejected ~ 「分詞構文」

○ get + O + done 「Oを…される」

○ reject ~ 「～を断る」

○ be likely to do 「…しそうである」

(4)○ Going into a company unannounced and not knowing whom you want to see

○ 上記が下線部(4)の主語。

○ unannounced : 分詞構文で「知らせない状態で」という意味になる。

○ lead to ~ 「～へと導く」 → 「～ということ〔結果〕になる」

○ frustration 「不満」

(2) 空所(3)の後ろには, individual achievement is more likely to be stressed と完全な文 (= 文法的に成立している文) が続くので, ここでは関係副詞 where を用いる。

(3) 北米の実業家が日本で仕事をする際に重視すべきことは, 最終段落に It is very important, however, to find the right individual in the company to introduce a business or sales proposal. と「とても重要なことは～」の書き出しでわかりやすく書かれている。この文を 35 字前後でうまくまとめればよい。

全訳

日本でビジネスをする時に北米の人たちに指摘しておくべき最も重要なことは, 日本人が(北米の基準では) 保守的で改まっているように見えるということだ。

自分の目上の人に対する礼儀正しさや敬意は, 日本社会一般でそうであるように, 日本のビジネスでとても重要である。例えば, 大半の日本企業では, 誰かに話しかける時, その人が社内での役職からして上司であれば, 名前と同時にその人の役職をつける (例えば, スミスさんではなく, スミス部長, といった具合に)。

日本のビジネスで重要な側面は, 集団の調和である。結果として, 日本企業での意思決定は集団内の合意によってなされる傾向がある。つまり, あるビジネスの問題のすべての要素は, その問題にかかわるすべての人々によって詳しく調べられる。その解決策は問題のすべての要素を調和的に解決するものである。(1)その結果, ビジネスでの意思決定はしばしばゆっくりと几帳面になされる。(2)複雑な案件を抱えて日本にビジネスに行く人々は, それが受け入れられるか拒否されるかがすぐさま決まると望んでいると, がっかりする可能性が高い。

日本企業は概して, 労働者のグループでの意思決定を行う一方で, 大半はそれでもとても複雑で序列的な経営システムである。北米の実業家は個人の達成が強調される傾向が強い文化から来ているので, 日本企業は人員が過大に見え, 実業家は, 社内の誰一人として意思決定の能力がないように見えるという事実によっていらいらを感じがちである。しかしながら, とても重要なことは, ビジネスやセールスの案件を売り込むべき確な人物を社内に見つけることである。したがって, 「下調べをする」ことと会うべき人物を正確に知ることが重要である。

(4)知らせなしに会社へ乗り込み, 誰に会いたいかわからないと, ただただがっかりして失敗

するだけであろう。

注

- ℓ. 5 ○ in general 「一般的に」
- ℓ. 7 ○ in terms of ～ 「～の（観）点から」
- ℓ. 9 ○ aspect 「側面」
- ℓ. 16 ○ make a decision 「決定する」
- ℓ. 18 ○ achievement 「達成」
- ℓ. 19 ○ stress ～ 「～を強調する」
- ℓ. 22 ○ homework 「宿題；下調べ」

【7】

解答

彼女は自分の1人息子のことについて決して話さなかった。そしてささやかながら私が彼について知っているすべてのことは、他人から知ったにすぎない。

注

- it is ～ that … 「…は～である」〔強調構文〕
- what little ～ 「ささやかながら～するすべてのこと」

【1】

解答・解説

- (1) (a) 彼は会った人には誰にでもその話をした。〔名詞節〕
(b) 彼女は誰に話しかけても、いつも礼儀正しかった。〔譲歩の副詞節〕
- (2) (a) 彼女は何を着てもきれいに見える。〔譲歩の副詞節〕
(b) あなたが言うことには何でも彼は留意するだろう。〔名詞節〕
○ pay attention to ~ 「～に注意を払う」
- (3) (a) あなたがいつ彼を訪問しても、彼は寝ているでしょう。〔譲歩の副詞節〕
○ call on ~ (=人) 「～ (=人) を訪問する」 cf. call at ~ (=場所)
(b) 私の母が買い物に行く時はいつも、私は夕食を作らなければならない。〔Whenever = At any time = Every time〕

18章 比較1

要点

■ 確認問題1

解答

Mary likes Nagoya best (in) (Japan).
= (Of) (all) (Japanese) (cities), Mary likes Nagoya best.

■ 確認問題2

解答

brought more food than she could eat

■ 確認問題3

解答

fewer cigarettes and drink less beer

■ 確認問題4

解答

by far the most talented soccer player in those days

■ 確認問題5

解答

- (1) She can sing as well as her sister.
- (2) You don't phone me as often as before.

■ 確認問題6

解答

- (1) Try to become friends with as many people as possible.
- (2) He was as cruel a leader as ever lived.

問題

【1】

解答・解説

- (1) more afraid 「彼女は病気になるのではないかと以前より心配している。」〔afraid は叙述的にのみ用いる形容詞なので more ; most 型。〕
○ be afraid of ~ 「~を恐れる, ~ではないかと心配する」
- (2) more selfish 「ボブは昔, 今よりわがままだった。」〔2音節の語で語尾が -ish の形容詞は more ; most 型。〕
○ selfish 「利己的な, わがまま」
- (3) less 「私が思っていたよりも困難はずっと少ない。」〔much, far は比較級を強める副詞。〕
- (4) worse 「食べ物はまずいし, サービスはもっと悪い。」〔bad は不規則変化。bad - worse - worst〕
- (5) better 「彼をもっと理解すれば, あなたはもっと好きになるでしょう。」〔この場合は much の比較級。deeply は like と共に用いることはできない。〕
- (6) latest ; last 「これは彼の最新の小説であるが, それが彼の最後の作品にならないことを願う。」
○ latest … 「時間」について表す late の最上級で, この場合, 「最新の」の意味。
○ last … 「順序」について表す late の最上級で, この場合, 「最後の」の意味。
- (7) further 「さらなる遅れがないことを願う。」〔程度についての far の比較級。〕
- (8) far 「この映画はあれよりもかなり悪い。」〔much, far は比較級を強める副詞。〕
- (9) the very 「あれは最高に面白い本だった。」〔very は「最上級+名詞」の場合に用い, the の後ろにくる。〕

【2】

解答・解説

- (1) as ; as you can
○ as … (原級) as one can [possible] 「できるだけ…」〔この場合, 相手に命令する文なので you を用いる。〕
- (2) twice ; many ; as
○ X times as … (原級) as A 「AのX倍…だ」〔= He has twice the number of my stamps.〕
- (3) as ; as any student
○ as … (原級) as any ~ 「どの~にも劣らず…」〔= She is one of the tallest students in her class.〕
- (4) might [may] as well ; as 〔= It would be better to throw the money into the sea than to lend it to him.〕
○ might [may] as well A as B 「BするくらいならAする方がよい」

- (5) not so much : as
 - not so much A as B 「AというよりむしろB」 [= B rather than A]
- (6) without : as saying
 - without so much as …ing 「…さえしないで」
- (7) much as 「[金額]は[量]を表すので much を用いる。」
 - as much as ~ 「～もの多くの」
 - pay for ~ 「① ~の代金を払う ② ~の償いをする」
- (8) as many ~ 「同数の～」
- (9) as good as ~ 「～も同然」

【3】

解答・解説

- (1) 彼は疲れており、(以前より)老けて見えた。彼の顔には以前より多くのしわがあった。しかし、相変わらずあらゆる種類の事柄についてしきりに話したがった。
 - as + 原級 + as ever 「相変わらず…だ」
- (2) どんな本を読むのかを見ればその人がわかるという表現よりもさらに「付き合う友人を見ればその人がわかる」ということわざの方がずっとよく使われる。人間はその人自身やその人の考え方より、むしろその友人によってどんな人かが明らかになる。というのは、人間が自分の内面の気持ちを表すのは友人とのさまざまな関係の中においてであるからである。
 - saying 「ことわざ」 (= proverb)
 - be known by ~ 「～によってわかる [判断される]」
cf. be known to ~ (～に知られている)
 - even [比較級 more を強める副詞]
 - more than ~ 「～以上に」
 - not so much A as B 「AというよりむしろB」

【4】

解答

ある大手の銀行は、パートの主婦を雇えば、同じ仕事を正社員にやらせる場合の20～40%の経費で済むと推測している。より安上がりであるばかりか、主婦には別の利点もある。日本の家庭では家計をやりくりし、ほとんどの投資を決定するのは、たいてい女性である。

注

- it is ~ who [that] … 「…は～である」 [強調構文]
- family finances 「家計」
- investment 「投資」 < invest

【1】

解答・解説

- (1) This bridge is three times the length of that one
 ○ ~ times the length of ... 「…の～倍の長さ」 (= ~ times as long as ...)
- (2) There were as many as thirty patients in the sickroom
 ○ as many as 数詞「～もの多くの」
 ○ patient 「患者」
- (3) She grows flowers as well as vegetables
 ○ ~ as well as ... 「…だけでなく～も」 (= not only ... but also ~)
- (4) (He took the money) I offered without so much as saying a thank-you
 ○ without so much as ...ing 「…さえしないで」
 ○ He took the money (that) I offered [関係代名詞 that の省略]

【2】

解答・解説

- (1) Our teacher of history is not as [so] strict as our teacher of music.
- (2) Spain is about one and half times as large as Japan, but its population is about one third (as large as) that [the size] of Japan. [but 以降については, but it has about one third as large a population as Japan. でもよい。]
- (3) Walk as fast as possible [you can] , or you will be late for the train.
 ○ 命令文, or ~ 「…しなさい, さもないと～」 [or 以降については, or you will not be in time for the train でもよい。] cf. 命令文, and ~ (…しなさい, そうすれば～)
 ○ be in time for ~ 「～に間に合う」 [さらに, or you will miss the train とも書き換えることができる。]
 ○ miss ~ 「～に乗り遅れる」

19章 比較2

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) 彼は自動車事故の後、生きているというよりむしろ死んでいるという状態だった。
- (2) 私は大勢の中にいるよりも一人でいるのを好む。

■ 確認問題2

解答

- (1) その欠点のために（かえって）それだけ一層好かれる人がいる。
- (2) 口論しないだけの分別を持つべきだ。
- (3) 人は生まれながらに話せるのではないのと同様、生まれながらに人間性を持っているのではない。
- (4) 彼女はその警察官を見るとすぐに逃げた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) that of [「the + 名詞」の代わりに働きをする that。]
- (2) more pretty than [pretty rather than] [同一人物の異なった性質や状態を比較する場合は, -er 型の変化をする語でも more を使う。]
- (3) to [ラテン語系の比較級は to を伴う (↔ junior to)。]
- (4) much [far]; to [比較級を強める副詞は much [far]。ラテン語系の比較級は to を伴う。]
- (5) the more; of [2者の比較の場合, 比較級の前に the が付く。of the two を伴うことが多い。]

【2】

解答・解説

- (1) (a) 彼 (が正直ではないの) と同様にあなたも正直ではない。
 - A is no more B than C is D 「CがDでないのと同様にAはBでない」
- (b) あなたは彼ほど正直ではない。
 - A is not more X than B (is) 「AはBよりもXではない, AはBほどXではない」
- (2) (a) 兄さん (が利口であるの) と同様にその子も利口だ。
 - A is no less B than C is D 「CがDであるのと同様にAもBである」
- (b) その子の利口さは兄さんに勝るとも劣らない。
 - A is not less X than B (is) 「AはBに勝るとも劣らずXである」
- (3) (a) 彼はたった2台しか車を持っていない。
 - no more than ~ 「～しか」 (= only)
- (b) 彼は多くて2台しか車を持っていない。
 - not more than ~ 「多くて～」 (= at most)
- (4) (a) 叔母は彼らに30ドルもあげた。
 - no less than ~ 「～もの」
- (b) 叔母は彼らに少なくとも30ドルあげた。
 - not less than ~ 「少なくとも～」 (= at least)

【3】

解答

- (1) 「全訳」の下線部(1)を参照。
- (2) 「全訳」の下線部(2)を参照。
- (3) イ

解説

- (1) much には比較級を強調する働きがあり、「はるかに、大いに、ずっと」の意味。
- (2) conviction の後に続く that は同格の節を導く接続詞の that で、ここでは「～という確信」という意味になる。that 節内の would は単純未来の will が時制の一致で would となったもの。
- (3) ここでの文脈は、educational opportunities were expanded, even for women. 「女性にとっても学習の機会が広がった」なので、イが正解。

ア contract ～「～を縮小する」contract には「契約」, 「～を契約する」の意もある。

イ extend ～「～を拡大する」

ウ intend : intend to do で「…しようと思う」の意。

エ compound ～「～を混合する」

全訳

(1)教育とは、単に事実を学ぶことだけを言うのではない。真の教育は、推論や判断の技術を伸ばし、この技術によって人は事実を意味のある文脈にまとめることができるのである。強力な、活気ある国家が必要とするのは教養のある国民である。教育は文化的主体性や市民の責任を強化する。

アメリカの指導者たちは、教育の重要性を常に信じてきた。初期の植民地開拓者が学校を開校し、そこでは植民者たちが3つのR、つまり reading (読書), 'riting (書法), 'rithmetic (算数) を学習することができた。聖書を読むことは特に重要であった。1642年、マサチューセッツ植民地が「老獪な詐欺師悪魔法」を可決した。これによって、マサチューセッツ州の各都市は若者たちに学校教育を提供しなければならなかった。(2)この法律の華やかな名称は、聖書を読む人々は悪魔によって誤った方向に導かれることはないという植民地開拓者たちの確信を表していた。

植民地時代、職業学校もあった。孤児や貧しい子供たちは、職業について学ぶ徒弟として勉強するが多かった。会計や測量術や航海術のための特別な学校に通う若者たちもいた。聖職者養成のための、さまざまな大学が創立された。ハーバード大学 (1636年創立)、エール大学 (1701年創立)、プリンストン大学 (1746年創立)、コロンビア大学 (1754年創立) がある。

新しいアメリカ共和制の指導者、特にジョージ・ワシントンやトマス・ジェファソンは、教育は民主主義の成功を約束してくれる最高のものであると考えていた。19世紀初頭、女性にとっても学習の機会が広がった。1852年、マサチューセッツ州は通学を義務とするようになった。1860年までには、アメリカの大半の州には、授業料が無料の、税金でまかなわれる学校があった。今日、大半の公立学校は、引き続き財産税によって資金を調達している。

注

- ℓ. 2 ○ reasoning 「推理, 推論」 cf. reason ～ (～を推論する)
- organize 「～ (=考えなど) をまとめる, ～を準備する」
- context 「文脈, 前後関係, 背景」
- ℓ. 3 ○ vital 「活力がある, 生き生きとした」 cf. vitality (活力, 生命力)
- reinforce ～ 「～を補強する, ～を増強する, ～を強化する」
- cf. reinforcement n. (強化, 補強)

- identity 「独自性, 主体性, 自己同一性」
- ℓ. 4 ○ civic 「市民の, 市の」
- ℓ. 7 ○ the Bible 「(キリスト教の) 聖書」旧約聖書 (the Old Testament) と新約聖書 (the New Testament) から成る。
- ℓ. 8 ○ pass ~ 「~を通す; ~を可決する」
cf. The Senate passed the bill. (上院はその議案を可決した。)
- “Ye Olde Deluder Satan Act” 「老獪な詐欺師悪魔法」Ye = the, Olde は old の古い綴り。
- ℓ. 10 ○ lead ~ astray 「~を墮落させる; ~を迷わせる」
- ℓ. 14 ○ navigation 「航海術, 航空術, 航行」
○ ministry 「牧師の職務, 大臣の職務, (日本・ヨーロッパ諸国の) 省」
cf. アメリカの省は department。
- ℓ. 19 ○ compulsory 「必修の, 強制的な」 cf. compulsory education (義務教育)
- ℓ. 21 ○ finance ~ 「~に資金を融通する」
○ property tax 「財産税」

【4】

解答・解説

- (1) The more I rested, the better I felt.
○ the ~ (比較級), the ... (比較級) 「~すればするほど, ますます…」
- (2) He is all the worse for a change of air.
○ all the ~ (比較級) for ... 「…なのでそれだけいっそう～」
- (3) No sooner had she arrived than she fell ill.
○ no sooner ~ than ... 「~するやいなや…」〔~の部分が過去完了形となっていることと, no sooner が文頭にくると S V (助動詞) が倒置されて疑問文と同じ語順 (had S 過去分詞) になることに注意。〕

【5】

解答

日々が過ぎていったが, メアリーの祖母は病気がよくならなかった。メアリーはできるだけ一生懸命働いたが, 2人は前よりもさらに貧乏になっていく一方だった。

注

- even poorer [比較級を強める語は much; far などが一般的であるが, この他に even, still, yet などとも比較級を強めることがある。この場合, even は「それどころか, さらに」の意味。]

【6】

解答・解説

(1) no

○ no + 比較級 + than ~ 「~より少しも…ない → ~と同じくらい…」

(2) sooner

○ no sooner ~ than … 「~するやいなや…」

(3) worse [the + 比較級の the は, 前〔後ろ〕にある比較の理由を表す語句 (because …) を受けて「それだけ」の意味を表す。]

○ think ill [badly] of ~ 「~のことを悪く思う」(⇔ think well of ~)

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) all the 「私はその子供が正直なのでいっそう好きだ。」
○ all the ~ (比較級) for ... 「…なのでそれだけいっそう～」
- (2) no less than 「あなたにはたった1人の兄弟しかいないが、私には9人もの兄弟姉妹がいる。」
○ no less than ~ 「～もの」 (= I have *as many as* nine brothers and sisters.)
- (3) to 「この布はあの布より品質がずっと劣る。」 [inferior はラテン語系の比較級なので、than ではなく to を用いる。]
- (4) The higher ; the thinner 「高く登れば登るほど、(その分だけ) ますます空気は薄くなる。」
○ the ~ (比較級), the ... (比較級) 「～すればするほどますます…」
- (5) any 「あなたが数学家でないのと同様に彼は芸術家ではない。」
○ A is not B any more than C is D 「CがDでないのと同様にAはBでない」
(= A is no more B than C is D)

【2】

解答・解説

- (1) not less 「この本には少なくとも50個の間違ひがある。」
○ not less than ~ 「少なくとも～」 (= at least)
- (2) not more 「彼女は多くて〔せいぜい〕10ドルしか持っていない。」
○ not more than ~ 「多くて～」 (= at most)
- (3) sooner had he ; than 「彼が銃をそのライオンに向けるやいなや、そのライオンは彼に襲いかかった。」
○ no sooner ~ than ... 「～するやいなや…」 [～の部分が過去完了形となっていること、no sooner が文頭にくるとS V ((助)動詞) が倒置されることに注意。]
○ rush upon ~ 「～を襲う」

【3】

解答・解説

- (1) rather than → to 「私たちはあちらよりこちらの方を好む。」 [prefer は比較するものが名詞の時は to を用い、to 不定詞の時は rather than を用いる。]
- (2) taller → the taller 「その2人兄弟のうち、彼の方が背が高い。」 [2者の比較の場合、比較級の前に the が付く。]

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

お金を貯める唯一の方法は貯金箱の中に隠してしまうことだった。そして私がお金を置いておきたいと思う場所は、手の中かポケットの中だけだった。私の貯金箱のお金は、私にとっては他の誰かの貯金箱のお金と同様に本当に私のものではないように思われたのである。

注

○ care to do 「…したいと思う」の意味では通例「否定文・疑問文・条件節」で用いられる。

20章 比較3

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) The tournament is important to most of the players.
- (2) I spend most of my spare time reading.

■ 確認問題2

解答

- (1) 書物が表現できるのはせいぜい学説程度のものだ。
- (2) 犬は育てるのが最も簡単な動物の1つである。
- (3) 彼はその少女の無知を最大限に利用した。

■ 確認問題3

解答

日本では、よく集団で人々は行動するが、日本人の旅行の仕方ほどこれを明確に表しているものはない。

問題

【1】

解答・解説

- (1) best 「これは私が今までに聞いた最も素晴らしい音楽だ。」
- (2) deepest 「その湖のどの地点が最も深いですか。」〔同一の物（ここでは湖）についての比較で、叙述用法の形容詞の場合は the を付けない。〕
- (3) the deepest 「これらの湖の中のどれが1番深いですか。」〔他者との比較〕
- (4) much the 「ボブの話はダントツに面白かった。」〔much, by far で最上級を強める時は、the の前に置く。〕
- (5) most 「それは大変楽しいパーティーだった。」〔most = very〕
- (6) happiest 「彼女は読書をしている時が1番幸せである。」〔同一の人についての比較で叙述用法の形容詞の場合、the を付けない。〕
- (7) most of 「私はその仕事の大部分をした。」 cf. almost all (of) the work は可。

【2】

解答

私たちの生活が次第に忙しくなるにつれて、レクリエーションはますます重要になってくる。それは、現代生活における他のいかなる問題にも劣らず考慮するに値する問題である。

注

- deserve ～ 「～に値する」
- as 原級（名詞）as any (other) 単数名詞 「他のどんな～にも劣らず…な」〔最上級とほぼ同様な意味を含む。〕
- attention 「① 注意 ② 考慮」〔不可算名詞なので「多くの」の意の形容詞は much となる。〕
- one = a problem 「前出の可算名詞を受ける代名詞。〕

【3】

解答・解説

- (1) The largest 「最上級が even の意味を含む。sum（金額）の大小は large；small で表す。」
- (2) the last（直訳）「彼女は私がそんな所で会うことを予想した1番最後の人だった。」
 - the last ～ to do 「最も…しそうにない～」
- (3) best〔most〕of
 - make the best〔most〕of ～ 「～を最大限に利用〔活用〕する」
- (4) least
 - not … in the least 「まったく…ない」（= not … at all）
- (5) to；least of
 - to say the least（of it）「控え目に言っても」

- (6) their best
 ○ at *one's* best 「最高の状態で」
- (7) do [try] your best
 ○ do [try] *one's* best 「最善を尽くす」
- (8) at most
 ○ at most 「せいぜい, 多くて」 (↔ at least)

【4】

解答・解説

- (1) 「日本で大阪ほど多くの橋がある市は他にないと私は思う。」
 (a) more ; any other
 ○ 比較級 than any (other) 単数名詞 「他のいかなる～よりも…」
 (b) the most ; of [of の後は比較の直接の対象がくる (of all the cities)。in の後は比較の対象を含むより大きな枠を表す名詞がくる (in Japan)。]
- (2) 「これは私が今までに読んだ中で最も面白い話だ。」
 (a) never ; interesting a [「so + 形容詞 + 不定冠詞 + 名詞 + as」の語順に注意。]
 (b) never ; a more

【5】

解答・解説

- (1) 「全訳」下線部(1), (2), (3), (6)参照。
- (1)◇The Australians make greater use of the airplane than any other people in the world.
 ○ make use of ~ 「～を利用する」
 ○… (比較級) than any (other) ~ 「他のいかなる～よりも…」
- (2)◇In no other country is the total number of miles flown by the average person so high. (直訳) 「他のいかなる国においても, 平均的な人によって飛行される距離の合計の数字はこれほど高くはない。」
 ○ in no other country 「他のいかなる国においても…ない」 [否定語を含む副詞句が文頭にきているため, S Vが倒置されている。]
 ○ total *adj.* 「① まったくの, 完全な ② 全体の, 総計の」
- (3) ◇ It is not surprising, therefore, that Australia should have been the first country to develop Flying Doctor Service. [it は, that Australia should have been the first country to develop Flying Doctor Service を表す形式主語。]
 ○ should have been 「[感情]の助動詞 should + 完了形」
 ○ to develop Flying Doctor Service [country にかかる形容詞用法の不定詞]

(6) ◇ He is no further (in time) from a doctor or a hospital than many English farmers.
(直訳)「彼は多くのイングランドの農民よりも、医師や病院から(時間的には)決して遠くない所にいる。」

○ no further from ~ 「～からさらに遠いことはない」 < far from ~ 「further はこの場合「距離」を表す far の比較級。」

(2) successful

(3) falling [getting : becoming]

全訳

(1)オーストラリア人は、世界の他のどの国民よりも飛行機を多く利用する。(2)普通の人が飛行機で行く距離の総計は、他のどの国よりも大きな数字となる。それどころか、実際は、オーストラリア人は、他の国々の人々が電車やバスに飛び乗るように飛行機に飛び乗ると言われてきた。(3)したがって、オーストラリアが飛行機往診医療制度を発達させた最初の国だったことは、驚くことではない。

オーストラリアの飛行機往診医療制度ができて80年になるが、非常に成功していて、今日ではたとえ町や都市から何百マイルも離れたところに住んでいても、オーストラリア人は病気になることを心配する必要はない。(6)オーストラリア人は、多くのイングランドの農民と医師や病院から(時間的な)距離は変わらないのである。

[6]

解答・解説

(1) This is the cheapest way.

別解 This is the least expensive method.

(2) This building is the second [next] tallest in Chicago.

別解 This building is the tallest but one in Chicago.

(3) This is the worst movie (that) I have ever seen.

別解 I have never seen such a bad movie.

(4) The lake is deepest at this point. [同一の人(物)での比較の場合、最上級に the は付けない。]

(5) The best man makes a mistake [an error]. [この最上級 best には even の意味が含まれる。]

【1】

解答・解説

- (1) (This) is one of [among] the busiest streets in Tokyo.
 ○ one of [among] the + 最上級 + 複数名詞 「最も…な～の1つ, 有数の～」
- (2) (He) is more honest than anyone [anybody] else.
 ○ 比較級 than anyone [anybody] else 「他の誰よりも…」
- (3)(a) (China has) the largest population of all the countries in the world. [「多い人口」は a large population, 「少ない人口」は a small population。]
 (b) (China has) a larger population than any other country in the world.
 ○ 比較級 than any other 単数名詞 「他のいかなる～よりも…」
 (c) (No other) country in the world has a larger population than China.
 ○ No (other) 単数名詞 + V + 比較級 than ～ 「～ほど…なものはない」
 (d) (No other) country in the world has so large a population as China.
 ○ No (other) 単数名詞 + V + so [as] 原級 as ～ 「～ほど…なものはない」
 [「so [as] + 形容詞 + a + 名詞」の語順に注意。]

E1TS/E1T
高1 難関大英語 S
高1 難関大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製